びっちゅう 菱川師宣※ 備中ぐわ 東海道 25 49 1 にっこうとうしょうぐう + 1, 13 千歯こき 日光東照宮 日光街道 26 50 2 おうしゅう 千石どおし 奥州街道 化政文化 3 27 51 なかせんどう じっぺんしゃいっ 唐み 中山道 十返舎一九 28 52 4 こうしゅう 農業全書 甲州街道 与謝蕪村 29 5 53 油かす 飛脚 小林一茶 30 6 54 せきしょ せんりゅう ほしか 関所 川柳 31 55 7 いりでっぽう きょうか きんぴ 入鉄砲 金肥 狂歌 8 32 56 でおんな き た が わ う た まろ 室町 出女 喜多川歌麿 9 33 57 あさ おおいがわ かっしかほくさい 麻 大井川 葛飾北斎 34 10 58 くじゅうくりはま まわ うたがわひろしげ 東廻り 歌川広重 九十九里浜 35 59 11 えんでん 菱垣 塩田 36 12 きたまえぶね マニファクチュア 北前船 13 37 たかせぶね 酒 高瀬舟 14 38 えっちゅう しょう油 越中 39 15 りゅうきゅうおうこ かぶなかま 株仲間 琉球王国 16 40 りょうがえしょう げんろく 両替商 元禄文化 17 41 いはらさいか おひざもと 井原西鶴 18 42 蔵屋敷 浮世草子 19 43 近松門左衛門 城下町 20 44 みなとまち 人形浄瑠璃※ 港町 2145 歌舞伎 宿場町 2246 もんぜん 門前町 松尾芭蕉 23 47 ほんじん 奥の細道 本陣 48 24

- 記述1 関東平野で作られる大豆と海辺でつくられた塩を船で運び、できあがったしょう油を船で江戸などに運ぶため。
- 記述2 江戸の町を刹根前の洪水から守るため。
- 記述3 値段を安くするかわりに、その場で現金で取り引きするという意味。

記述4 大阪に幕府や藩の蔵屋敷が集中していたため。

記述5 江戸での莨飩や幕府へのむほんを防ぐため。

記述6 東海道をよこぎる川には江戸を守るために橋がかけられていないところがあり、川の水かさが増すと 何日も養たされたため。